

第42期 2025 年度 第 2 回米委員会 議事録(青文字が発言等)

※裏表印刷です

2025年 11月 5日(水) 10:00～ 場所 益城事務所と米倉庫 全 16名 (参加者 11名 欠席 5名) 書記 福岡

ブロック	秋津	水前寺	帶山	健軍	御領	杉並木	水前寺	大津	事務局	生産者						
名前	柄本	永井	菊地	池田	木下	中島	石田奈	田中	福岡	下田	田上	島川	昭人	林田	高丸	真実
出欠	○	○	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

準備物： レジュメ ~~お菓子、くだもの、飲み物~~

0 理事会・各委員会・事務所等からの報告・提案

理事会 特になし

1 稲作の状況、米検査の感想

佐藤昭人 130袋入庫 昨年より少しだけ悪かった。出穂後にイモチ病が出た。取り残した雑草も悪影響を及ぼしたと思うが、今年はとくかく暑くて除草も5～6回もしないといけなかった。

下田 430袋入庫・米検査完了 てんこもりに変えて大正解。分けつし始めは少なく感じて少し不安にもなったが油粕等をすぐ振って対応した。

島川 264袋入庫・米検査完了 今年は苗作りに無事成功したのが大きかった。カメムシを少し見たので心配していたが、影響も無く良かった。

高丸 35袋入庫 紋枯れ病が出てしまい良くなかった。分けつはとても良かったのだが。カメムシ対策で草刈りをしないといけなかった。春は鹿の害、秋は猪の害が出た。フェンスで目隠しをすると良いらしいので来年はそうしたい。

佐藤真実 70袋入庫 去年より悪く、不作だった。イモチ病が出て、紋枯れ病が初めて出た。カメムシも多かった。暑さ等作るのが難しくなってきた。来年は集落で合鴨ロボを2機購入する。スマート農業に対する予算。

田上 収穫祭お世話になりました。にこまるは75%の出来で、20袋予定していたが0になって申し訳ないです。来年は70袋しっかり出したい。にこまるとてんこもりを作ろうと思っている。

林田 転換米26袋入庫 収量は良かったが、カメムシの害が多くて、紋枯れ病も出た。水路に外来の草がはびこって水が入って来にくくなり生育に良くなかった。

2 2025年産米の予約注文の受注状況と供給計画

※別紙資料「2025年産米供給計画(改)(案)を参照のこと

	2025	増減	2024	2023	2022	2021	2020	(10月22日現在)
考 え る 会	30kg玄米	239	46	193	192	212	203	(※過去データは11月下旬の最終のもの)
	10kg玄米	383	31	352	328	320	309	新規注文者数 45 人
	5kg玄米	498	98	400	388	409	333	(昨年7人、一昨年15人、二昨々年36人)
	10kg白米	204	19	185	156	135	117	
	5kg白米	331	62	269	291	248	231	
	合計(30kg)	587	91袋	495	478	483	448	445
注文者数		225	40人	185	187	183	157	
注文金額		1365	477万円	888	856	862	798	794

G F 個 人	30kg玄米	42	7	35	29	19	9.6	8.8 (10月22日現在)
	10kg玄米	30	18	12	0	10	58	66 新規注文者数 14 人
	5kg玄米	129	51	78	90	92	64	45
	10kg白米	37	25	12	6	12	18	3
	5kg白米	24	16	8	13	16	19	34
	合計(30kg)	92	34袋	58	49	45	50	46
注文者数		26	14人	12	12	12	12	玄米5kg 3978円 玄米2kg 1758円
注文金額		213	123万円	90	90	81	90	白米5kg 4471円 白米2kg 1953円

※クラフト袋は+324円にて

3 在庫・販売状況(10月31日時点)

◎米 入荷: 下田430袋、島川264袋

・在庫数量(袋)

総数 469.3	内 訳	考える会			GF個人		GF業者	
		予約米		追加米	未納米	予約米	追加米	追加米
		503	内備蓄米 0	-33.6	9.1	89.6	18.6	0

・販売数量(袋)

会		GF個		GF業
予約	追加	予約	追加	追加
10月	10月	10月	10月	10月
83.5	11.0	10.6	1.2	6

※考える会: 10月中旬から新米販売開始。10kgと5kgは1袋限定の制限を付けています。週当たり4袋以上の注文が来ています。
場合によっては10kgを休止にします。

※GF個人 販売制限は会と同様です。

※GF業者: 40袋入荷 転換米: 今年は無しです

◎米ぬか(No3092) (昨年年間販売数 64袋)

10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計(12カ月)
1	6	0	5	2	5	7	11	0	9	2	2	4	53

◎焼酎 43度(3803)、25度(3804)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計(12カ月)	月末在庫数
43度	3	5	8	0	4	0	8	8	21	3	1	1	0	59	91
25度	26	12	59	16	17	20	5	24	5	42	21	4	26	251	169

・25度はすでに2024年産酒を販売しております。43度は12月頃からの見込です。

・次回の仕込みは、最近の売れ行きからすると2026年秋に備蓄米を使って、2027年1月出来上がりの予定です。

・25度は来年の7月頃売り切れとなるかもしれません。

品切れとなるのはよくないので今年の米で焼酎を仕込む。予約米を減量してもらった経緯はあるが、今年は近年では一番の豊作で929袋の収量だった。備蓄米も40袋ほど予定できた。

4 今年話し合いたいこと

・米の利益率について(特に30kg玄米)	仕入値(生産者価格)	税別 17000円 ←話し合う時間がなかったのでまた来月に	販売価格(税別)	粗利益率	予約米販売額/粗利益
30kg玄米	20565円	14.9%	489万円／73万円		
10kg玄米	7225円	21.6%	276万円／60万円	10kg白米	8375円 23.5% 170万円／37万円
5kg玄米	3683円	23.1%	183万円／39万円	5kg白米	4440円 27.8% 146万円／32万円
1kg玄米	757円	25.1%		1kg白米	900円 28.8%

※食品小売業の粗利益率は25~30%程度だと言われています。

※30kg玄米は配送料の500円(配送委員会へ支払い)を利益から引いています。10kg白米の利益率なら、売り上げが倍の340万になれば利益は74万となり、玄米30kgの利益を超えます。

・米の生産者価格について、毎回適正かを確認するようにする

栖本さん提供の新聞記事を参考ください

←たくさんの意見が出ました

・次回は価格変更の手続きをきちんとする

・価格の根拠を示す(下田さんだけでなく、米生産者全員がそれぞれの経費内訳を出すようにしよう。)

・計量機の新規購入について

タイガーカワシマ 袋詰自動計量機 アイシーコンビ LSI-42BL 定価 341000円(税込)

今期分は売り切れで在庫無し(納期は来年10月くらいで値上げもされる)と回答があった為、サタケの NRP30Cの見積もりを取りました。税込295000円、納期来年4~5月、現在在庫無し。12月の委員会で話し合いましょう。

現在、JA益城と林田さんのお知り合いに見積確認中。農業支援基金で買えないかも確認中

・30kg玄米配送について

・米委員さん減少問題

・米検査について。全量検査は果たして必要なのか。1袋につき250円。



5 米委員会会だより(新聞) 12月号の記事について

収穫祭の稻刈の写真を載せようと思います。

(株)サタケ 袋詰自動計量機

N R P 3 0 C

熊本に営業所有り

6 今後の予定

12月2日(火) 米小袋詰め作業 生産者: 林田9:00~、消費者: 池田(健軍ブロック)10:00~

※別紙資料

GF業者米に40袋、焼酎用に11袋まわすよう変更となりました。

・2025年産米供給計画(改) (案) 確定!

※「ベース」の数量は直近3力年の実績等を考慮して決定する

※1.転換期間終了に付17.7a増
※2.転換期間終了に付き17a増
※3.他に28a(転換期間2年目)有(約30袋)

良くなかつたため来年からの出荷となりました

3.4

GE業者米の割り当てについて

今年は生産者価格が会と同じなので、しかも数も少ないので経理業務を軽減するためにGF個人同様に島川さんに全て引き受け頂けたらと思っていますが、いかがでしょうか？ ←会議で言い忘れてしまいました。

島川さんにて承していただいたので、今年のGF米は全て島川さんに出していくかたちとなります。

